

2026-27Weekly Bulletin **Tanabe Hamayu Rotary Club**

持続可能な
インパクトを
生み出そう



クラブテーマ

みんなに奉仕
みんなで交流

2026-27 年度 RI 会長
オラインカ・ハキーム・ババロワ

第 2640 地区ガバナー
岡本弥生

会長：杉山竜二 幹事：坂本耕作 会報委員長：坂本晶彦
事務所：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社社会館内
田辺はまゆうロータリークラブ TEL0739-26-6181
例会場：〒646-0029 田辺市東陽 1-1 闘雞神社社会館 TEL0739-22-0155

創立年月日：1992 年 1 月 21 日 例会日：毎週火曜日 18：30～
URL：<http://www.aikis.or.jp/~t-hamayu/> E-mail:t-hamayu@vm.aikis.or.jp



みなべ町長 山本秀平様

会長挨拶

杉山竜二

本日はみなべ町長山本秀平様によるお話です。現状のみなべ、今後のみなべについて卓話よろしくお願い致します。
我々、原田君をはじめ、みんなのできることが有れば協力・応援致します。

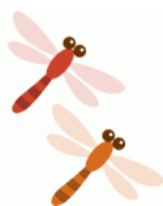
今後の予定について先々で決まっている行事については皆さんの参加をお願いいたします。

9 月 13 日 (日) 献血活動 パビリオンシティ田辺店にて
2 月 27 日 (土)・28 日 (日) 国際ロータリー第 2640 地区 地区大会
2 月 20 日 (土) 田辺はまゆうロータリークラブ創立 35 周年記念
4 月 26 日 (月) 高松南ロータリークラブ創立 70 周年記念式典



本日のロータリーソング

我らの生業



Today's Meeting

2026 年 9 月 15 日 (火)
内卓
「若かりしあの頃」

Next Week's Meeting

2026 年 9 月 29 日 (火)
外卓
田辺市長 真砂充敏様

出席報告

(第 1556 回)

会員数	出席免除	欠席者	出席率
28 名	2 名	9 名	65.38%

ゲスト

みなべ町長 山本秀平様

幹事報告

配布

○週報 1556

回覧

○米山奨学生の卓話・クラブ行事への派遣依頼のご案内
○串本 RC 週報
お知らせ
○9 月ロータリーレート 1 ドル = 160 円

委員長報告

◎奉仕プロジェクト委員会 委員長 加藤喜則
9 月 13 日 (日) は献血活動です。
場所：田辺パビリオンシティ
時間：9：30～12：00 13：00～16：00
皆様のご協力よろしくお願い致します。



委員長報告をする加藤喜則君

◎プログラム委員会 委員長 山本敦洋



☆9月15日の例会は、会員の皆さんの「若かりし頃」です。若い頃の写真（赤ちゃんの時でもOK）を募集しています。ご協力よろしくお願いします。

☆11月29日から12月1日の2泊3日で、田辺東ロータリークラブ様との親睦ゴルフ旅行（行先は宮崎県）を行いますので、ぜひご参加ください。8名までの先着順となります。

プログラム

「町長に就任するまで & みなべ町の現状と課題」

みなべ町長 山本秀平様



本日はこのような場にお招きいただきましてありがとうございます。

私は平成3年生まれで、35歳です。大先輩の皆様の前にして大変恐縮ですが、皆様のお役に立てるようなお話ができるかどうか分かりませんが、私の今までの経験についてお話をさせていただきたいと思います。

私がなぜ町長という職に就こうと思ったのか、そこが一番疑問に思われる方が多いのではないかと思います。私が町長に就任してから何度もそのことについて質問されました。

このあたりのお話をまずさせていただきます。

もともと、みなべ町生まれ、みなべ町育ちで梅農家です。田辺高校へ進学しましたが、全然勉強もせず、成績も振るいませんでした。硬式テニス部で、部活だけは一生懸命やるようなそんな高校生活でした。やりたいことが見つからないまま、大学へ進学しました。石川県の公立大学に進学しました。やはり、そこでも勉強をがんばることもなくゲームばかりしていました。正直何も身につかないまま、社会人になりました。

これから、何の仕事をしようかと、特にモチベーションも目的もないまま、とりあえず関西で仕事をしようかと思い、毎朝の満員電車で揺られながら就職活動をしていく中で、この生活を40年間続けるのは嫌なあと本気で思いました。それで、6月に一度実家に戻り、梅の手伝いを2週間程度しました。その時に農家さんの顔が楽しそうに見えました。大阪周辺で就職活動をしていた時との違いでした。今まで、みなべ町に帰ってこようとは思ってなかったのですが、自分の生まれ育った町で楽しそうな顔をしている周りの人たちと一緒に仕事してみたいと思いました。

大学卒業と同時に梅農家として頑張っていたのですが、楽しそうに見えた一方でこれから梅産業がどうなるのかわからない、人口減少や、若い世代がどんどん減っていくという、そんな状況を目の当たりにして、かなり不安になってきました。当時、彼女もいなくて、女の子との出会いもなく、結婚できるのかと不安になりました。家と畑の往復で、一度はみなべ町から出ようかと思いましたが、外に出ている友人に聞くと、本当はみなべ町に帰りたいたと、でも仕事がないから都市部に出ているのだということを聞きました。自分はふるさとに仕事があるのは非常にありがたいことなんだと思いました。この将来に対する漠然とした不安、大阪に出て行っても自分はそれはそれで悩むのではないかと思いました。であれば、今を一生懸命生きて、それでもだめであればみなべ町を出ようと決めたのは25歳の時でした。

そこで自分のマインドがコロッと変わりました。色々勉強したいと思い、たくさん本を読みました。自分の考え方が変わったのは、「人を動かす」という本や、「アドラー心理学」の影響を受けました。マズローの5段階欲求という概念を勉強して、最終自己実現が誰かのために頑張ることが幸せに繋がるということを本気で思いました。

さらに、私はソフトバンクの孫正義さんが大好きなのですが、孫さんが坂本龍馬の言葉を引用して「世に生を得るは事を成すにあり」と、「この世に生まれてくることは、何かを成し遂げるべき使命や目的があるから」という言葉を聞いたときは、それまで本を読んだり、自分なりに、自分は何のために生きているのだらうと、自分の存在意義を考え続けてきたと

ころにバシッとその言葉がはまったのです。そこで、自分も自分にできることを本気でやろうと、恥ずかしいとか言っている場合ではない、と動き始めました。みなべ町の課題は何だろうと真剣に考えました。日本一の梅の産地で、勢いのある会社もたくさんある。そんな中でなぜ先行きが不安なのか、私にできることは何なのか、そんな中で、地方をよくするために、政治の力も大変重要なのではないかと考え、勉強を始めたのが26歳でした。

勉強すればするほど、政治の仕組み、票をとるために生き残らなくてはならない、人気を保つためには、本来すべきではない施策を行っていたり、逆に本来すべきなのにしていない政治家がたくさんいるのではないかということに気が付き始めました。そこで、将来を見据えて本来すべきことをしていく政治家を目指していきたくと思いました。

そういう風に思ってしまったからには、やらないと気が済まない性格だったのかもしれませんが。元々人前に立って話をしたりするのは苦手ですが、正義感だけはあったのだと思います。これをやらなくてはいけないと思ったことが自分の心の中にできた瞬間に、今でも覚えています。26歳11月に東京で友達と、また役場の職員さんとお酒を飲んでいた時だったのですが、「町長になる！」とピーンときて、お酒に酔いながら「町長になるんだ」と。26歳の農業しか経験したことのない若造が何を言っているんだという話なんです。職員さんの前で言いました。その瞬間にこの気持ちを大事にせなアカんと、お世話になっている方に「僕町長になります」と酔った勢いでメールもしました。

翌日の朝、起きた瞬間に「えらいこと言っしもたな」と、何てことを言ったんだと、まだ経験のない若造が偉そうなことを言って、と思ったのですが、しらふになって、改めて自分が思った瞬間のことを冷静に考えた時に、これは嘘ではない、自分のアクセルを踏んでいる思いは嘘ではない、ただ、恥ずかしい、失敗したらどうしよう、というブレーキもかけている。言ってしまった限りはそのブレーキを壊してみよう、ということで、一度バカになってやってみよう、と決意をしました。それが26歳の11月です。

自分の退路を断つために、「町長になる」と色んな人に言いました。友達や、親にも言いました。ほとんどの人は「こいつ何言ってるんや」と思ったと思うのですが、不思議なことに、その言葉を真剣に考えてくださる方もちょこちょこ出てきました。

政治の勉強や色々な経験をさせていただく中で、自分の政治信条も高まってきて、28歳の時、町議会議員選挙で当選させていただきました。ただ、32歳の時には、必ず町長選挙に出ると、もし、町長選挙に出ないのであれば、私

は議員を辞めると、周りの人たちにも言って、退路を断って進んで、今に至ります。

すみません、町長になるまでの話が長くなりました。

実際に町長に就任してからの仕事ですが、本来すべき仕事をこつこつ地道にやっていくことが、私は一番大事なのではないかと思っています。

町民の皆さんが求めているものは、何か大きなビジョンを掲げて分かりやすい施策をどんどんやってほしい、例えば道の駅だったり、串本のようなロケットだったりとか、企業誘致などをどんどんやっていけば、町が変わっていているなという実感もあると思いますし、それを求められているのもわかります。ただ、なかなか、そういう目立つような施策はないものです。ましてや、みなべ町は日本一の梅の産地であります。まずは、この梅産業を守っていかなくてはならないというのは、私の第一の信念であります。でも、元々ある当たり前のものとして見てしまっているのです。梅産業を守ると言っても、新しい町長、梅のことしか言わんな、と批判を受けます。でもみなべ町の7割のお仕事は梅関連産業です。和歌山県の梅産業の規模が700億から1000億と言われてます。梅産業が廃れてしまうとお金が回らなくなってしまう。その大事な土台をしっかり守りたいと思っています。



ただ、その梅産業が今本当に大変な危機に陥っています。気候変動で収穫量が今年は10年平均の5割強と言われてます。一昨年も5割程度、昨年は7割程度でした。梅屋さんが売りたいくても売れない状況です。他にも課題があります。カメムシの大量発生、今一番危険なのは、クビアカツヤカミキリです。毎年、倍々に指数関数的に増えてしまっている状況です。和歌山県内で分かっているだけで、モモ、スモモ、ウメの被害が1万本以上出ています。おそらく確認されていないものもあると思います。それが来年さらに倍に被害が進んでしまうかもしれないという状況です。梅農家の経験から、対策を何もせずにくいとあと10年でみなべ町の梅の生産量は半分になると思います。これは誇張でもなんでもなくて本気でそう思います。先ほど言った700億円のお金もどんどん稼げなくなって、地域にお金が回らなくなってしまうのではないかと考えています。

少しでも危機感をもってもらいたいという思いと、あと、町長の仕事を紹介するために、最近インスタを始めました。

みなべ町では、漁港の再編の事業を行っております。水産業に何とか活路を見出したいと、地域の方々に20~30人集まっただいて毎月お酒を飲みながら、この漁協をどうにかしようという催しをしております。

新しいことを始めると批判の声が思った以上に激しいです。自分の保身を考える政治家の最適解は何もしないこと。何もしなければ、あの町長なんもせん、という批判は出ますが、一定の水準で止まる。私は、それでもやらなくてはならないことはやるんだ、と腹をくくってやっています。

あと2年後に選挙がありますが、自分のやりたいことをやって落ちてしまうのならば、それも仕方がないというぐらいの思いでやっています。

これからのまちづくりについてです。
人口減少はある程度受け入れるしかないと思います。みなべ町も一番多いときで17,000人でしたが、今は11,000人です。これから毎年200人ずつ減っていき、20年後には8,000人をきるような状況です。
ある程度人口を維持していくのも大事ですが、人が減っていくことに対応していく町づくりをしなくてはならない。だからこそ、今まで人が増えていく前提で建ててきた公共施設も縮小していくことも大事です。ただ、今まであったものを壊すということはものすごい反発がきます。それでもやらなあかん、と腹をくくってやってまいります。

私は今、一番関心をもっているのは、AIです。進歩がすごいです。人口が減っていき労働力が減っていきますが、最先端の技術を活用して、もちろん怖いという気持ちもありますが、この流れは止められないと思っています。たまたま暴走するAIのニュースもありますが、その波に乗っていく方法を考えていくしかないのではないかと思います。行政においても活用しながら生産性を高めて住民の幸せをいかにして高めていか、人口が減っていく中で、仮に5,000人になっても、みなべ町のことが大好きな愛着を持った町民の割合が高ければ、私はきっと幸せなまちづくりに繋がっていくのではないかと思います。

ご清聴ありがとうございました。



ニコニコ箱

杉山隆二 本日は、みなべ町長山本秀平様 よろしくお願ひします。

坂本耕作 おつかれさまです。本日は、みなべ町長 山本秀平様の卓話、楽しみにしています！

菅根 清 本日は、山本秀平みなべ町長様、よろしくお願ひいたします。

中峰千代子 山本町長様、本日はよろしくお願ひいたします。

山本康夫 山本秀平町長、本日は楽しみにしておりました。よろしくお願ひ申し上げます。

加藤喜則 明日9月9日は「救急の日」です。紀南地方の119番通信指令は、どんどん向上しております。生命を守る環境整備につとめてまいります。本日は、山本町長、よろしくお願ひします。

原田 覚 本日は、山本秀平町長、よろしくお願ひします。

山本敦洋 みなべ町長山本秀平様、本日はよろしくお願ひいたします。

中家正幸 //

狩野智成 //

大田忠博 9月は妻の誕生日です。お花が届きました。ありがとうございました。本日はみなべ町長山本秀平様、卓話よろしくお願ひします。

献血にご協力 お願いします

和歌山県では1日に140名分の献血者が必要になります。
他に代わるものがない輸血用血液は、日々安定的に患者さんへお届けする必要があります。現代の医療が成り立たないことのないよう、そして、有効期間の短い輸血用血液を必要としている患者さんの命を守るために、輸血用血液の在庫量を適切な水準で維持していくことが極めて重要です。

皆様の献血で「救える命」「助かる命」があります！
多くの患者さんの命を救うため、皆様の積極的な協力をよろしくお願いいたします

2026年9月13日（日）

時間：9:30～12:00/13:00～16:00

場所：オークパビリオンシティ田辺店

協賛：田辺はまゆうロータリークラブ

献血にご協力いただいた方に、協賛団体様より記念品プレゼント！
献血カードのアプリができました！初めての方でも事前問診や予約が可能です。

このQRコードをスマホで
アプリダウンロード！

App Store

Google Play

※原則、400mL献血をお願いします。基準等は測定表をご覧ください。

日本赤十字社 和歌山県赤十字血液センター 紀南出張所
和歌山県内務事務局 紀南出張所 748-16
TEL 0739-53-8904（FAX 0739-53-1730）

和歌山県では1日に140名分の献血者が必要になります。

他に代わるものがない輸血用血液は、日々安定的に患者さんへお届けする必要があります。現代の医療が成り立たないことのないよう、そして、有効期間の短い輸血用血液を必要としている患者さんの命を守るために、輸血用血液の在庫量を適切な水準で維持していくことが極めて重要です。